

アスベスト廃棄物の応急的な処分手順について

はじめに

アスベストの除去は、十分な知識と特別な訓練を受けた専門業者が、専用の防護装備と設備、周囲への拡散防止対策を施して実施する作業です。

単に剥離したアスベストを拾って捨てるという単純な作業ですら、中皮腫や肺ガンなどの重大な健康問題を引き起こす可能性があります。アスベスト繊維は非常に細く小さいので、肉眼で避けることはできません。アスベストを扱う全ての作業は専門業者にまかせるべきです。それを理解した上でどうしても自社処分しなければならないケースにおいて、ここでは、例えば剥離したアスベスト耐火材などの応急的な処分方法について説明します。

剥離した耐火材や配管やダクトの断熱材、あるいは天井材などがアスベストであるという確認を終えているという前提とします。

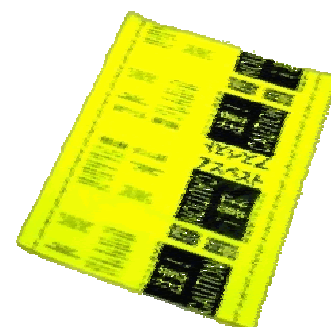
事前に自治体（県や市）のホームページで、アスベスト廃棄物（特別管理廃棄物）の処分許可をもつ業者を調べて、持ち込みや引き取りの可否を確認して下さい。

処分手順 -----

1 .(準備)

- ・現場に行って作業する前にワークショップやホームセンターで下記のもの入手して装備して下さい。
- ・作業現場に、ビニール袋に入れた替えの履物を用意しておいて下さい。

- 1) ゴム手袋
- 2) 使い捨てのできるつなぎ作業服
- 3) 使い捨てのできる靴、作業帽
- 4) 防塵マスク
- 5) 厚手のポリ袋 (0.1mm) 一般的なポリ袋は 0.05mm 程度
- 6) スプレー容器
- 7) コロピタ (粘着ローラーシート)
- 8) 梱包用粘着テープまたはダクト用テープ



専用の市販品もあります

2 .(湿潤)

- ・アスベストは自然鉱物の繊維です、そして、これらの繊維は容易に空中に浮遊します。ファイバーを落ち着かせるように、スプレー容器を使って水（石鹼水がベター）でそれらを湿らせて下さい。

3 . (作業)

- ・ 厚手ポリ袋を二重にしてください。 一般的なポリ袋なら4重にしてください。(計 0.15mm以上) ゴム手袋などの着用を確認し、湿らせてあるアスベスト耐火物を拾ってポリ袋に入れて下さい。搬出時のポリ袋の破損防止と用意な取り扱いのために、先に袋の中に段ボール箱を入れておくこともできます。
- ・ どんな残りのほこりや小さい断片も濡れた布を使用して拾い、二重にしたポリ袋に入れて下さい。
- ・ ふき取れない微細なチリは、コロピタ(粘着ローラーシート)で取って下さい。

注意!)専門業者用の高気密でHEPAフィルター付き真空掃除機以外の掃除機は絶対に使用しないで下さい。 排気が周辺環境を汚染します。

- ・ ポリ袋破損防止のため、一つの袋の重量は最大でも10~13Kgまでとして下さい。(片手で簡単に持ち上がる程度)
- ・ 一つの袋が適量になったら、都度ダクトテープまたは梱包用テープでバッグに厳重に封をしてください。 その際できるだけ限り空気を抜いて下さい。
- ・ 剥離物の袋への投入が終了したら、作業帽、つなぎ作業服、靴、靴下、マスクの順で脱ぎ、袋に入れて下さい。

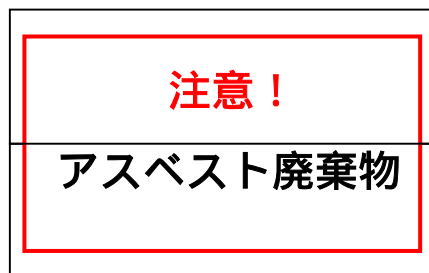
重大な健康問題と天秤にかけて、惜しいと思わず全て廃棄して下さい。

念のため新しいマスクを装着します。

同じようにダクトテープまたは梱包用テープでバッグに封をしてください。

4 . (識別)

- ・ 個々の袋に「注意! アスベスト廃棄物」と大きく書いたシールを貼って下さい。



梱包用のテープを
2枚並べて貼る



- ### 5 . (洗浄)
- 念のためはめたマスクを普通のポリ袋に入れて封をし、ゴミ箱に捨てて下さい。
シャワーで髪の毛、体の順に洗い流して下さい。

6 . (処分依頼)

アスベスト廃棄物の処分業者に、持ち込みや引き取りの連絡をして下さい。

廃石綿(除去アスベスト、作業に使用した保護衣、養生シートなど)の廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により『特別管理廃棄物』に指定されています。

その処分許可を有した処分業者に引き渡し、適正に処分することが法で定められています。